

夏の動物公園を楽しむ 売店特集

ゾウ舎前
売店

様々なひんやりメニューが登場!
夏の動物園散策のお供にぜひどうぞ!



ひんやり① くまちゃんドリンク
¥500(税込)

かわいいくまの「リユースボトル」に入ったドリンクが登場!
カルピス、コーラ、QOOオレンジ、綾鷹、紅茶家伝の全5種類。カルピスはホッキョクグマのライトそのもの!?

ゾウ舎前
売店 ふれあい
売店 遊園地
売店



ひんやり② メガドリンク
¥300(税込)

カルピス、コーラ、QOOオレンジ、綾鷹、紅茶家伝の全5種類が、通常の2倍以上のメガサイズで楽しめます。熱中症対策にぜひどうぞ!

ふれあい
売店 遊園地
売店 アフリカ園前
売店



ひんやり③ 線やのアイスキャンディ
¥170(税込)

指宿名物のアイスキャンディーが全8種類勢揃い!!さっぱりから濃厚まで、様々なフレーバーを楽しむことができます。

まだまだあるよ!ソフトクリーム3選!!

ゾウ舎前
売店

ふれあい
売店

遊園地
売店



プレミアムソフトクリーム 白桃
¥380(税込)

濃厚なのにさっぱり!
白桃が口いっぱいに広がります。



クリームソーダソフトクリーム
¥350(税込)

懐かしのクリームソーダフレーバー!
爽やかで夏にぴったり!



しまうまソフトクリーム
¥350(税込)

チョコレートとバニラのミックスが、まるでシマウマ!?

※入荷に遅れが生じたり、価格が変更となる場合があります。ご了承ください。



鹿児島市 平川動物公園

〒891-0133 鹿児島県鹿児島市平川町5669-1

TEL.099-261-2326 FAX.099-261-2328

■開園時間:午前9時~午後5時(入園は午後4時30分まで)

■休園日:12月29日~1月1日

URL <https://hirakawazoo.jp/>

Facebook <https://ja-jp.facebook.com/hirakawazoo>

Twitter <https://twitter.com/hirakawazoo>

YouTube <https://www.youtube.com/c/hirakawazoo>

動物取扱業の種別:展示、販売、保管、貸出 登録番号:生衛動取 第614号、第615号、第616号、第617号

登録年月日:令和3年5月11日 有効期限の末日:令和8年5月11日 動物取扱責任者氏名:桜井普子

携帯サイトへ
アクセス!



ZOOっと平川 vol.37 2023年8月発行

編集・発行

公益財団法人
鹿児島市公園公社

〒892-0816 鹿児島市山下町15番1号

TEL.099-221-5055 FAX.099-223-5690

URL <https://k-kouenkousya.jp>

Facebook <https://ja-jp.facebook.com/k.kouenkousya>

鹿児島市平川動物公園情報誌

2023 vol.37

ず~ZOOっと平川



特集1

「キリン飼育員の一日」

特集2

オーストラリアからコアラがやってきた(後編)

特集3

クロサイ「サニー」の引っ越し大作戦

飼育員の一日

マサイキリン



飼育担当者:若松富男・倉谷夢羽
私たち2人が担当をしています。

担当動物:マサイキリンの他に、
ヨーロッパフラミンゴ、カバ、ダチョウ、
エジプトガン

<学名> Giraffa camelopardalis tippelskirchi
<英名> Masai Giraffe
<分類> 偶蹄目キリン科
<生息地> アフリカ(サハラ砂漠以南)
<主食> アカシア(マメ科の木)の葉や樹皮、小枝



ある日のスケジュール

8:15 朝の観察・カバ・キリンのエサ付け・放餉
ダチョウへ給餉

8:30 キリン舎の掃除

9:30 カバ舎の掃除

10:00 フラミンゴ繁殖場の掃除・
フラミンゴへ給餉

10:30 乾草・ペレット等のエサ運び

11:30 粪などのゴミ捨て

12:00 お昼休憩

13:00 ミーティング

13:15 夕方のエサ運び、昼の観察

13:30 キリンのエサ用の木を採取

15:00 カバ・キリンの夕方のエサ付け

15:45 アフリカ園収容、夕方の観察

16:00 カバ収容・掃除、夕方の観察

16:30 ダチョウ・フラミンゴへ給餉、
夕方の観察

16:45 各獣舎の戸締りチェック

17:00 日誌記入・退社

マサイキリンは、ケニアやタンザニア共和国などアフリカ南東部に生息しており、乾燥したサバンナや木がまばらに生えている地帯に群れで生活しています。キリンは、世界で最も背の高い動物で、他の草食動物が食べることができない高い木の葉や若芽を採食するのに適しています。現在平川動物公園では3頭のオスのマサイキリンを飼育しています。

今回は、キリン担当者の1日をご紹介します！

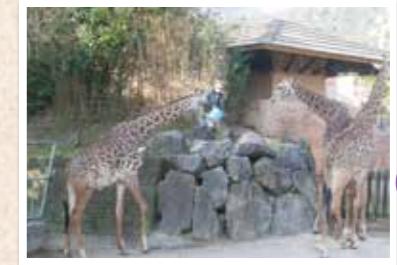
8:15～

カバ・キリンのエサ付け・放餉

毎朝動物に挨拶をしながら、前日のエサの食べ残しや異常がないか確認します。展示場で与えるエサを準備します。キリンはキャベツ1kg・ペレット5kg、カバは乾草6kg・キャベツ1kgです。



いってらっしゃい！



みんなおはよう！

8:30～

キリン舎の掃除

放餉が終わると運動場と室内の掃除をします。糞の状態を見ながら、お腹の調子を壊していないか等体調を確認します。



今日もいっぱい
してるな～



糞の状態も
良好！

9:30～

カバ舎の掃除

毎日室内プールの水を入れ替えています。
カバは水中でも排泄をしますが、あまり気
にしません。プールの水は、衛生上毎日変え
ています。



綺麗な水に
変えてあげよう！

10:00～

フラミンゴ繁殖場の掃除・給餉

フラミンゴ繁殖場は、桜島に向かって左側にあります。プールの水を抜いている間に水を撒きながら、羽や落ち葉を数か所に集めます。水を入れ替えてエサを撒きます。フラミンゴは水中の小動物やプランクトン、藻類等を食べる所以、エサもプールに撒きます。



今日も元気！



いっぱい
食べてね！

10:30～

乾草・ペレット等のエサ運び

週に1回カバ・キリン・フラミンゴのエサを運びます。運ぶエサは、乾草(ルーサン、チモシー2番刈り)ペレットです。



カバのエサの
チモシー2番刈り
です！

エビデンス! 「ルーサン? チモシー? 2番刈り? って何??」

ビタミン・ミネラル・タンパク質などの栄養素がたくさん入った草を干したもの。ルーサンはマメ科の植物で、実はスーパーでも見かける「アルファルファ」です! チモシーはイネ科の植物で、1番刈り:伸びてきた草を初めて刈ったものと、2番刈り:その後伸びてきた草を刈り取ったものがあり、2番刈りは1番刈りに比べてやわらかいのが特徴です。

11:30～

糞などのゴミ捨て

糞や食べ残し等のゴミを捨てに行きます。大型草食動物なので糞の量は多いです。ゴミ捨てを一度で済ませるため、バケツいっぱいに詰めます。これらは堆肥として再利用されます。

12:00

お昼休憩

しっかり食べて、昼からに備えます！



かなりの重量！

13:00～

ミーティング

各飼育員から連絡事項などを共有します。

13:15～

夕方のエサ運び

夕方のエサの準備をするために必要なものを運びます。

いっぽい
食べるな～



13:30～

園内でキリン用の木を採取

一日に何本もの枝葉を食べるのでたくさんの木が必要です。木の種類は、カシ(アラカシ等)・ホルトノキ・マテバシイなどです。キリンにも好き嫌いがあり、3頭が好む木を探してきます。

カシの木です！



今日もいっぽい
採れた！

15:00～

カバ・キリンの夕方のエサ付け

朝のエサと異なり、夕方のエサは室内にあるエサ用の台に設置します。キリンなど草食動物は一日のほとんどをエサを食べて過ごすため、夜間もエサが無くならないように多めに準備します。



準備OK！



カバのエサ

15:45～

アフリカ園收容

キリン・サイ・シマウマが寝室へ帰る時間です。寝室とアフリカ園との間にある扉を開けると、自ら寝室に帰って行きます。大型動物ばかりなので、放飼や収容は、複数の飼育員で無線連絡を取り合いながら行います。寝室でエサを食べる様子を観察して、今日も異常が無かったかを確認します。



みんなおり帰り～



よく食べてる！

16:00～

カバ収容・掃除

この時間になると、いつも扉の前で待っているので、すぐに寝室に誘導します。キリンと同じようにエサを食べている様子を観察して異常が無いかを確認します。翌日に備えて展示場を掃除します。



お疲れ様～



綺麗に掃除！

16:30～

ダチョウ・フラミンゴの給餌

ダチョウがエサを食べているときに羽数の確認をします。オス3羽、メス1羽です。フラミンゴは喧嘩をしないように満遍なくエサをあげます。

16:45～

各獣舎の戸締りチェック

扉の鍵の閉め忘れがないかどうかを確認します。



17:00～

日誌記入・退社

1日の出来事を記入します。毎日記入することで、今後の飼育に役立てています。日誌の記入を終え、お風呂に入って汚れを綺麗に流して帰ります。

飼育員からひとこと

全国の動物園で多く飼育されているキリンは「アミメキリン」で、「マサイキリン」は全国でも熊本市動植物園、宮崎市フェニックス自然動物園、そして当園の3園でしか見ることができません。飼育頭数も少ないため、繁殖については他の動物園と情報共有・協力しながら、取り組んでいます。現在、ハートは12歳、ハヤテは6歳、アヤトは4歳です。当園はオスだけですが、とても元気で仲が良いです。また、ハヤテとアヤトは少しづつオスとしての成長も見られるようになっていますので、ぜひ会いに来てください！



担当者：倉谷、若松

特集2 オーストラリアからコアラがやって来た2

アーチャーがやってきた 新しい仲間

前回は「ドリームワールド」での研修や、オーストラリアの固有種をご紹介しました。
今回は、オーストラリアから鹿児島へ、移動の様子をご紹介します！

いざ鹿児島へ 移動のはじまり

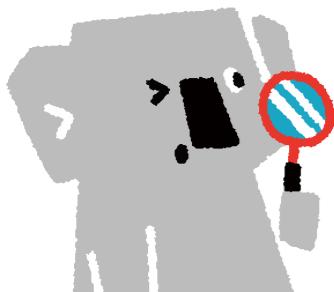


【①最寄りのブリスベン空港からシドニー空港へ国内移動→②シドニー空港から羽田空港へ→③羽田空港で検疫と税関手続き→④鹿児島空港へ国内移動→⑤平川まで陸路移動】となります。移動時間は約36時間ととても長い旅です。

1日目の早朝、新鮮なユーカリをたっぷり輸送箱に入れて、いざ出発。途中シドニー空港で待機時間があるためユーカリの交換と体調チェックを行い、休息をとりました。国際線貨物への積み込みは夕方には完了し、翌朝の東京までアーチャーの状態は確認できません。アーチャーは緊張した様子でしたが、ユーカリも食べていたので、無事を祈りながらオーストラリアを離れました。



シドニーで状態確認と休息をとりました。やや緊張しています。 ドリームワールドから持参したユーカリを追加交換しました。



2日目の早朝に羽田空港に到着し、入国手続きを済ませ、はやる気持ちを抑えてアーチャーの待つ国際線貨物ターミナルへ。

ここでは、コアラだけでなく輸送箱の検疫、そして税関手続きが待っています。動物専用待機室で、検疫官が個体に異常がないか、オーストラリアで規則通りの検査や検疫を終えたかなどを確認していきます。当園からも獣医師が駆け付け、異常がないか検診を行い、鹿児島から持参した新鮮なユーカリに交換しました。

約12時間ぶりに対面したアーチャーはやや疲れた表情に見えましたが問題はなく、残りの鹿児島までの国内線移動を行いました。



ようやく羽田空港へ到着。鹿児島から駆け付けた獣医師が健康状態をチェックします。



羽田空港に出向いた獣医師は、鹿児島から新鮮なユーカリを持参し、前日に東京へ到着しました。せつかのユーカリがしおれないように、ホテルのバスタブにユーカリを入れて、鮮度をキープしてくれました。



お風呂に入ったのは人ではなくユーカリ!? 今日だけはユーカリにのんびりしてもらいたい気持ちが強かったです。



ターンテーブルで運ばれてくるユーカリ。航空会社のご厚意により容器の補強や貨物室内での保管場所などご配慮していただきました。

ようやく平川動物公園へ

鹿児島空港到着後は、約1時間の陸送が待っています。途中のサービスエリアでも状態を確認し、現地を出発して約36時間後の夕方無事到着しました。到着後は寝室棟へ収容し、新鮮なユーカリをたっぷり与え、ゆっくり過ごしてもらいました。

しばらくするとユーカリを食べはじめ、一同一安心しました。今ではアーチャーの性格や日々のリズムも把握できてきました。アーチャーは他のコアラたちの存在も認識してきています。



無事に平川動物公園へ到着。ゆっくり過ごしてもらいます。

大事に育てられた命を、当園はもとより国内の動物園で継承し、次の世代へ子どもたちが残せるようにしっかり管理していきたいと思います。また、コアラを通じてオーストラリアの雄大な自然や興味深い生き物たちについて、来園者の皆様をはじめ、日本の方にもっと紹介していくたいと思いますので、応援よろしくお願いします。

アーチャーの近況報告

検疫期間を問題なく終えましたが、旧コアラ館の改修工事のため、しばらく展示には至っておりませんでした。この間、アーチャーは寝室棟でのんびり過ごし、朝の掃除やユーカリ交換の際には積極的に担当者へ近づき、エサの催促をすることもありました。改修工事も終了し、皆様の前に登場しています！

気になる繁殖についてですが、順調にペアリングをこなしてくれています。6月22日には、ヒマワリとの間に生まれた子どもが

出袋し、すくすくと成長しています！



代わる代わるメスとのお見合いを継続しています。

コアラ担当:落合(晋)

クロサイ「サニー」の 引っ越し大作戦！

＼サニーについて／

日立市かみね動物園で2009年3月2日に生まれ、2012年11月16日に平川動物公園に来園し約十年間皆さんに愛されたクロサイです。

2022年12月、繁殖のため故郷であるかみね動物園に帰りました。

将来の旦那さん候補は「フー」。フーは一足先に愛媛県立とべ動物園からかみね動物園へ移動しました。



虹とサニー(泥・水遊び中)



来園当初のサニー。
サトウキビをくわえています

＼平川でのくらし／

サニーは周りの時間がゆっくり流れているように思わせる、ほのぼのとした雰囲気を出していました。他の動物に比べマイペースな印象が強い個体でした。

雨の日は決まって泥浴びをして、運動場をダッショ。息を切らして部屋に帰ることも。慣れない匂いが大の苦手で、寝室からペンキの匂いがした日に、21時30分まで部屋に入らなかつたこともあります。

「エサ」、「撫でて」、「不安」、「イライラ」と鼻息の音や強さを使い分けて気持ちを上手に伝えていました。

サニーの運動場前で行ったトークイベントでは、お客様の近くに来るサービスっぷりで、たくさんのファンができ、搬出が決まると手紙や果物、フォトブックなど贈り物がたくさん届く「愛されクロサイ」でした。



贈っていただいた果物を
食べるサニー



輸送箱に入る練習中の
サニー

＼搬出トレーニング／

サニーの搬出が決まり、無事に送り出すための準備を始めました。小さな動物と違い、捕まえて輸送箱に入れることができません。サニーが自ら箱に入り、中でじっとできるようトレーニングする必要があります。サニーが普段出入りしている扉に輸送箱をくっつけて、輸送箱の中にエサを設置し、中で食べるよう促します。輸送箱にサニーの匂いをつけたり、輸送箱の奥から声をかけたりして、5日ほどかけて一番奥で留まるように練習しました。

＼そして迎えた搬出当日！／

動物は、「いつもとの違い」に敏感です。飼育員の緊張や、焦りを感じて搬出に支障が出ないよう平常心（のふり）で行いました。

箱の奥にいつものように誘導し、寝室の扉を勢いよく閉めます。直後は大きく暴れましたが、声をかけたり、暗くしたりすることで落ち着き、輸送箱を完全に閉じることに成功しました。20キロほどの鉄の棒を6本入れ、輸送箱から脱出しないよう固定しましたが、1700キロある輸送箱が大きく揺れるほどのパワーがありました。

12月13日11時ごろ平川を出発し、翌日無事到着しました。動物輸送業者のドライバーさんによると、移動中も定期的に暴れていたそうです。リンゴや乾草はちゃっかり完食したようで安心でした。

現在は父親のメトロと、将来の旦那さんのフーと一緒に仲良く過ごしているようです。



最終チェックを入念に行います



サニーに声を掛けながら
作業を進めます



クレーンで吊り、輸送用の
トラックに積み込みます

最後に



神経質で超大型のクロサイの搬出は、今までにない緊張がありました。

私は、元飼育担当であり、サニーの大ファンなので、毎日会えなくなつたことは寂しく思います。他のサニーファンの皆さんも寂しい気持ちを持たれているとは思います。ですが、「繁殖のための移動」というのはとても誇らしいことです。私は、サニーの門出を嬉しく思っています。

アフリカの草原ゾーン担当：市川

SAGA 24が開催されました

2022年11月26日、27日にSAGA(アフリカ・アジアに生きる大型類人猿を支援する集い)シンポジウムが初日は鹿児島大学で、2日目は平川動物公園で開催されました。

2019年のSAGA22以来の対面での開催だったこともあり、2日間で約220名の方が参加されました。今回のテーマは、「動物がつなぐ日本と世界」。野生飼育下での類人猿の講演はもちろん、コアラや動物園全体を取り巻く環境、動物園条例などの講演もありました。

またポスター発表も盛んに行われ、動物園関係者や研究者だけではなく、一般の方との交流も盛んに行われました。今後も、動物園が研究と一般の方との橋渡しになるように努めています。



調査研究報告

動物園の役割の一つに「調査研究」があります。動物の飼育を通して得られた知識や情報は動物の飼育技術の向上だけでなく、動物園を訪れる方々へ広く公開することにより動物への理解を深めることができます。また、野生動物の生息地での保全活動に活用することもできます。コロナ禍で多くの研究会が中止となった2020年度でしたが、2021年度はweb会議での開催、2022年度は対面式も再開しつつありました。

●2021年度～2022年度に行った研究発表/ 講演

実施月	タイトル	場所	研究会名	発表者
2021.10	インドゾウへのタイヤによるエンリッチメントの取り組みについて	WEB開催	第30回(公社)日本動物園水族館協会ゾウ会議	菊村風穂、秋元哲、松元悠一郎、鈴木大河
2021.11	オランウータンの保全に向けての現状と課題	WEB開催	日本の動物園と世界の生物多様性シンポジウム	福守朗
2022.1	ようこそツルの世界へ！－平川動物公園のツルたち－	マルマエ音楽ホール 出水(出水市)	ラムサール条約登録記念シンポジウム	福守朗
2022.2	国内初の試みであるコアラのウォーカスルー展示と今後の施設運営	WEB開催	令和3年度(公社)日本動物園水族館協会九州・沖縄ブロック飼育技術者研究会	落合晋作、村上浩一、永榮大樹
2022.2	ワオキツネザルの人工哺育と群れへの復帰	〃	〃	松本茉麻、松元由貴、北山美晴、前谷史恵

実施月	タイトル	場所	研究会名	発表者
2022.10	平川動物公園開園50年 ～魅力ある動物園づくりについて～	城山ホテル鹿児島	鹿児島県経営者協会10月例会	福守朗
2022.11	アルダブラゾウガメのQOL 向上を目的とした飼育管理の見直しと今後の課題	日立シビックセンター	第32回日本水族館両生爬虫類会議	山田透生
2022.11	平川動物公園のコアラ飼育の歴史	鹿児島大学/ 平川動物公園	SAGA24	桜井普子
〃	平川動物公園チンパンジー 今昔物語:8つの笑顔	〃	〃	小村圭
〃	飼育員が感じた鹿児島の 野生生物:地域の生き物の 情報ステーションとして	〃	〃	落合晋作
〃	アルダ布拉ゾウガメのQOL 向上を目的とした飼育管理の 見直しと今後の課題	〃	〃	山田透生
〃	鹿児島県に生息する希少種 (特にツル類・奄美群島生息種) の傷病個体の生息域外保全 への活用	〃	〃	落合晋作、前谷史恵、 福守朗、秋元哲、 日高愛子、伊藤ななお、 伊藤綾夏、浅井隆之、 桜井普子(平川動物公園)、 大和修(鹿児島大学共同獣医学部)
〃	鹿児島市平川動物公園での コアラ飼育	〃	〃	村上浩一、落合晋作
〃	飼育下インドゾウにおける 夜間の行動調査～ラウナは いつ寝ている?～	〃	〃	永峰令子、菊村風穂、 秋元哲、鮫島弘士
〃	平川動物公園のツイートに に対する「いいね」の傾向	〃	〃	落合祐子、徳重雄三
〃	平川動物公園における チンパンジーの人工アリ塚 使用について	〃	〃	小村圭
2023.1	テンジクネズミに発生した 腫瘍の分類とその分析	広島国際会議場	第70回動物園技術者 研究会	伊藤ななお、加藤萌子
〃	傷病個体で保護された オオトラツグミの国内 初展示	〃	〃	落合祐子、桜井普子、 秋元哲、伊藤ななお、 落合晋作(平川動物公園)、 伊藤圭子(奄美いんまや動物病院)
〃	羊毛を用いたイベントの一例 ～アンケート調査から考える 今後の課題～	〃	〃	加藤萌子、細田真司、 菊村風穂、貴島さくら、 落合祐子、桜井普子、 福守朗